

記載見本

役員等の利益相反自己申告書

[算出期間(3 暦年): 年 月 日～ 年 月 日]

日本周産期・新生児医学会 理事長 殿

提出日前の 3 暦年の利益相反状態を記載してください
(暦年とは 1 月 1 日～12 月 31 日)

申告者氏名(会員番号): _____ ()

所属(機関・教室/診療科)・職名: _____

本学会での役職名: ☐理事長 ☐理事 ☐監事 ☐学術集会長 ☐次期学術集会長 ☐次々期学術集会長 ☐幹事長
☐副幹事長 ☐委員会委員長 ☐委員会副委員長 ☐委員会委員 ☐委員会幹事
☐その他()

委 員 会 名 : ☐周産期学シンポジウム運営委員会 ☐刊行・編集委員会 ☐学術委員会 ☐広報委員会
☐渉外委員会 ☐教育・研修委員会 ☐倫理委員会 ☐臨床研究審査委員会
☐学会制度あり方委員会 ☐社会保険委員会 ☐新生児蘇生法委員会 ☐専門医制度委員会
☐施設認定委員会 ☐専門医認定委員会 ☐専門医試験委員会 ☐COI 委員会
☐周産期臨床研究コンソーシアム委員会 ☐女性医師活躍推進委員会
☐災害対策委員会
☐その他()

該当する役職及び委員会名に必ずチェックを付けてください。複数の委員会に所属する場合は、所属する委員会すべてをチェックしてください。所属する委員会名の記載がない場合は、「その他」に委員会名を明記してください。提出は 1 通で結構です

A. 申告者自身の申告

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職、寄附講座に所属する者の有無と報酬額 (□有 ・ □無)
(1 つの企業・団体からの報酬額が年間 100 万円超のものを記載)

	企業・団体名	役 職 (役員・顧問など)	金額区分
1			
2			
3			

金額区分: ①100 万円超 300 万円未満 ②300 万円以上 500 万円未満 ③500 万円以上

2. 株式の保有と、その株式から得られる利益(最近 1 年間の本株式による利益) (□有 ・ □無)

(1 つ企業について 1 年間の利益が 100 万円以上のもの、または当該株式の 5%超保有のものを記載)

	企業名	持ち株数	申告時の株値(一株あたり)	金額区分
1				
2				

金額区分: ①100 万円超 300 万円未満 ②300 万円以上 500 万円未満 ③500 万円以上

3. 企業、団体から特許権使用料として支払われた報酬 (□有 ・ □無)

(1 つの特許権使用料が年間 100 万円超のものを記載)

	企業・団体名	特 許 名	金額区分
1			
2			

金額区分: ①100 万円超 300 万円未満 ②300 万円以上 500 万円未満 ③500 万円以上

4. 企業、団体から会議の出席(発表)に対し研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当(□有 ・ □無)

(1つの企業・団体からの講演料・座長料・指導料・原稿料などの個人収入が年間合計 50 万円超のものを記載)

	企 業 ・ 団 体 名	金額区分
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

金額区分:①50 万円超 300 万円未満 ②300 万円以上 500 万円未満 ③500 万円以上

5. 企業、団体から提供された研究費 (□有 ・ □無)

(1つの医学系研究に対して支払われた総額が年間 100 万円超、奨学寄付金(奨励寄付金)については、1つの企業・団体から、1名の研究代表者に支払われた総額が年間 100 万円超のものを記載)

	企 業 ・ 団 体 名	研究費区分	金額区分
1			
2			
3			

研究費区分:①治験 ②産学共同研究 ③受託研究 ④奨学(奨励)寄付金

金額区分:①100 万円超 500 万円未満 ②500 万円以上 2,000 万円未満 ③2,000 万円以上

6. その他の報酬(研究とは直接無関係な旅行、贈答品など) (□有 ・ □無)

(1つの企業・団体から受けた報酬が年間 5 万円超のものを記載)

	企 業 ・ 団 体 名	報酬内容	金額区分
1			
2			
3			

金額区分:①5 万円超 20 万円未満 ②20 万円以上 50 万円未満 ③50 万円以上

※提出された申告書は3年間保管されます。

B. 申告者の配偶者、一親等の親族、または収入・財産を共有する者の申告事項(☐有 ・ ☐無) 有の場合は該当者氏名(申告者との関係): _____ (_____)**1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職、寄付講座に所属する者の有無と報酬 (☐有 ・ ☐無)**

(1つの企業・団体からの報酬が年間100万円超のものを記載)

	企業・団体名	役職(役員・顧問など)	金額区分
1	「無」をチェックした場合は、該当者氏名を含め、以下の記載は不要です。「有」をチェックした場合のみ記載してください		
2			
3			

金額区分:①100万円超 300万円未満 ②300万円以上 500万円未満 ③500万円以上

2. 株式の保有と、その株式から得られる利益(最近1年間の本株式による利益)(☐有 ・ ☐無)

(1つ企業について1年間の利益が100万円以上のもの、または当該株式の5%超保有のものを記載)

	企業名	持ち株数	申告時の株値(一株あたり)	金額区分
1				
2				

金額区分:①100万円超 300万円未満 ②300万円以上 500万円未満 ③500万円以上

3. 企業、団体から特許権使用料として支払われた報酬(☐有 ・ ☐無)

(1つの特許権使用料が年間100万円超のものを記載)

	企業・団体名	特許名	金額区分
1			
2			

金額区分:①100万円超 300万円未満 ②300万円以上 500万円未満 ③500万円以上

4. 企業、団体から会議の出席(発表)に対し研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当(☐有 ・ ☐無)

(1つの企業・団体からの講演料・座長料・指導料・原稿料などの個人収入が年間合計50万円超のものを記載)

	企業・団体名	金額区分
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

金額区分:①50万円超 300万円未満 ②300万円以上 500万円未満 ③500万円以上

5. 企業、団体から提供された研究費 (☐有 ・ ☐無)

(1つの医学系研究に対して支払われた総額が年間100万円超、奨学寄附金(症例寄附金)については、1つの企業・団体から、1名の研究代表者に支払われた総額が年間100万円超のものを記載)

	企業・団体名	研究費区分	金額区分
1			
2			
3			

研究費区分:①治験 ②産学共同研究 ③受託研究 ④奨学(奨励)寄附金

金額区分:①100万円超 500万円未満 ②500万円以上 2,000万円未満 ③2,000万円以上

6. その他の報酬(研究とは直接無関係な旅行、贈答品など) (□有 ・ □無)

(1つの企業・団体から受けた報酬が年間5万円超のものを記載)

	企業・団体名	報酬内容	金額区分
1			
2			
3			

金額区分:①5万円超20万円未満 ②20万円以上50万円未満 ③50万円以上

誓約:私の利益相反に関する状況は上記のとおりであることに相違ありません。私の日本周産期・新生児医学会での職務遂行上で妨げとなる、これ以外の利益相反状態は一切ありません。なお、本申告書の内容は社会的・法的な要請があった場合は、理事会等での審議・承認により公開されることがあることを承認します。

※提出前の3暦年について記載してください。提出された申告書は3年間保管されます。

申告日と申告者署名は、必ず記載してください

申告日(西暦) 年 月 日

申告者署名

(事務局記入用)

受 付 日(西暦) 年 月 日

受付番号